

## 公共事業事前評価調書

[ 評価調書作成者 農地整備課 小柳 倫太郎 ]

## 事業プロフィール

## 【事業概要】

ふりがな 事業名	たかみち 県営 高道 地区 海岸保全事業
事業箇所	玉名市岱明町字長保地内
事業担当課(室)	計画 : 農林水産部 農地整備課 (防災班 内線 5476 ) 実施 : 農林水産部 農地整備課 (防災班 内線 5476 )
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 31 年度 ( 6 年間 )
総事業費	720 百万円 (うち県費 324 百万円 )
事業内容	消波工 L=700m、樋門工1カ所、堤防工 L=910m
事業目的	高潮による浸水と波浪による越波を防ぎ、背後地の農地とそこで展開される農業生産活動及び人命、財産等を守り、食料の安定供給の確保と安全な農村地域の形成を図る。

## 【現況写真】



写真①



写真②



写真③



写真④

## (事業着手前の状況)

## 【写真①】

・堤防のひび割れ等が確認され、消波工も未整備となっている。

## 【写真②】

・長保樋門は昭和48年に築造され40年経過しており、躯体には亀裂が入り、漏水箇所もみられる。

## 【写真③】

・台風時における越波の状況

## 【写真④】

・平成24年の台風16号による塩害の状況(平成24年9月18日撮影)

## 【 検討状況 】

技術的難易度	標準的な工法で実施可能
費用便益比	B/C = 43.42
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む)         </div>	<p>本県では、有明海沿岸海岸保全基本計画に基づき、概ね30年に1度発生する規模の高潮を目標に施設整備を進めている。本地区についても越波を低減するための消波工が未整備であるため、高潮対策により施設整備を行う必要がある。</p> <p>また、想定最大高潮(概ね100年に1度発生する高潮)に対してはソフト対策を充実することとしており、これを受けて玉名市は平成22年3月に玉名市高潮避難マップを作成、公表している。</p>
関係法令等の手続きの把握・完了状況	<p>高道海岸保全区域については、大正開漁港区域等と重複区間が存在していたが、海岸保全施設(堤防等)の管理者の明確化を図るため、漁港管理者(玉名市)等と協議調整し、重複区間の解消を行った。(平成25年9月に海岸法に基づき区域の指定変更について告示)</p>

## 【 周辺状況 】

関連事業	該当なし
市町村、地元の状況	<p>平成24年度に台風による塩害が発生しており、地元から早急な整備の要望がなされている。</p> <p>平成25年11月には、玉名市が会員となっている九州農地海岸保全協会が農林水産省等に対して本地区の整備に必要な予算の確保を求める要望活動を行っている。</p>
説明会の開催状況と関係者の意向	玉名市の意見を徴収して事業計画書を作成している。

## 【環境影響】

### ① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。 〔対象地域周辺では、干潟内にシギ等の鳥類が生息している。そのため、工事中は低騒音機械を使用するなど野鳥等に十分に配慮し施工する。〕	有
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。 〔干潟の減少による自然環境への影響を緩和するため、生物の生態調査結果を踏まえ環境に配慮した工法等の検討を行う。〕	有
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

### ② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

### ③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 〔有明海沿岸等では海苔養殖業が盛んであり、工事施工の際には関係漁協と協議を行い、海苔養殖期間に配慮した工期設定を行う。〕	有
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

### ④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

## 事業評価表

### ①基礎的事項の評価: 評点 I

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
基礎的事項	下記のすべての項目を満たすこと	60	○	60
地元推進体制の整備	①地元に対する事業計画内容、負担金等の説明		○	
	②関係市町村の事業推進体制		○	
	③関係漁協との協議(予備)		○	
環境	①熊本県公共事業環境配慮システムとの整合		○	
事業関係者、関係機関との協議、調整	①関係機関等との調整		○	
事業内容	①要綱・要領等に規定された事業内容、採択要件への適合		○	
	②関係法令、基準等への適合		○	
	③地形、地質、水利状況等からみた、技術的可能性		○	
			60	

### ②必要性(重要性)、緊急性、事業効果(効率性)、計画の検討度の評価: 評点 II

a=4点、b=3点、c=2点、d=1点

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
必要性(重要性)	①事業計画の位置付け	4	a	4
	②市町村合併支援	4	評価なし	0
	③特定地域振興	4	評価なし	0
	④防護区域内の重要施設の有無(市町村役場、警察署、消防署、病院等)	4	評価なし	0
	⑤1km当たりの防護面積	4	b	3
	⑥1km当たりの防護人口	4	a	4
		24	計	11

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
緊急性	①周辺農地や宅地等への被害の可能性(防災事業対象)	4	b	3
		4	計	3

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
事業効果(効率性)	①費用対効果の算定	4	a	4
		4	計	4

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
計画の検討度	①コストと品質の改善	4	c	2
	②環境面又は利用面での検討	4	c	2
		8	計	4

項目数	10	/	評点計	22	*	40	=	評点 II	22
(必要性(重要性)~計画の検討度の評価: 評点 II の配点40点)									

### ③総合評点

評点 I	+	評点 II	=	総合評点 82
60		22		